

高校公民プリント（過去問類似）

青年期と現代社会 No.10

名前

得点

/10

問1 DDTなどの化学農薬や殺虫剤の大量使用が生態系を破壊し、鳥たちのさえずりが聞こえなくなった不気味な世界を提示することで、科学技術の濫用がもたらす環境破壊に警鐘を鳴らした、1962年に出版された著作は何か。（2018年 全国公立入試 類似）

1. 成長の限界 2. 複合汚染 3. 沈黙の春 4. 奪われし未来

問2 「すべての生きようとするものを神聖なものとして敬い、これを維持し、促進することが善であり、これを破壊し、阻害することは悪である」と考え、アフリカのガボンで医療と布教活動に生涯を捧げたドイツ出身の医師・神学者が提唱した、倫理実践の基本思想を何というか。（2014年 全国公立入試 類似）

1. 他者への責任 2. 生命への畏敬 3. 未来への責任 4. 自然との共生

問3 青年期における発達課題を「自己同一性（アイデンティティ）の確立」とし、この時期に社会的な責任や義務が一時的に猶予される期間が存在することを提唱したアメリカの心理学者は誰か。（2025年 全国公立入試 類似）

1. ハヴィガースト 2. エリクソン 3. レヴィン 4. オルポート

問4 欲求不満（フラストレーション）に直面した際、理性的・合理的な解決や防衛機制による無意識の調整を図ることなく、他者への八つ当たりや暴力などの短絡的かつ衝動的な行動によって直接的に欲求を解消しようとする反応を何というか。（2016年 全国公立入試 類似）

1. 反動形成 2. 迂回反応 3. 近道反応 4. 攻撃行動

問5 アメリカの社会学者が著書『孤独な群衆』の中で提唱した概念で、他者の期待や行動を敏感に察知し、それを自らの行動基準として周囲に同調しようとする、現代の大衆社会に特徴的な社会的性格を何というか。（2019年 全国公立入試 類似）

1. 伝統指向型 2. 他人指向型 3. 内部指向型 4. 市場指向型

問6 人間のパーソナリティ（人格）の理解において、その人がどのような文化的価値を追求し、何に重きを置いているかに着目し、真理を求めるタイプや他者への愛を求めるタイプなど、6つの価値タイプに分類する理論を提唱したドイツの哲学者は誰か。（2021年 全国公立入試 類似）

1. シェルドン 2. クレッチマー 3. ユング 4. シュブランガー

問7 現代社会において、情報通信技術（ICT）の発展は人々のコミュニケーションや社会参加のあり方を大きく変化させている。例えば、地域の公民館で開催される住民説明会や対話集会において、物理的にその場に集まることが難しい高齢者や育児中の住民が、インターネットを介して自宅からリアルタイムで議論に参加し、意見を述べたり投票を行ったりする試みがみられる。このように、従来の対面による関わりに、ICTを用いた非対面による関わりを組み合わせることで、より多くの市民が意思決定プロセスに関与できるようにする仕組みや、それによって実現される民主主義の形態を何というか。（2025年 全国公立入試 類似）

1. 熟議デモクラシー 2. e-デモクラシー 3. 観客デモクラシー 4. 参加デモクラシー

問8 現代社会における家族機能の外部化の具体例として、高齢者の介護を家庭内だけで抱え込まず、社会全体で支え合うことを目指して2000年から施行された、日本の社会保険制度は何か。（2022年 全国公立入試 類似）

1. 生活保護制度 2. 国民年金制度 3. 雇用保険制度 4. 介護保険制度

問9 大量生産・大量消費・大量廃棄型の社会から脱却し、天然資源の消費を抑制して環境への負荷をできる限り低減することを目指す社会システムを何というか。このシステムでは、廃棄物の発生抑制（リデュース）、再使用（リユース）、再生利用（リサイクル）の推進や、資源の有効利用が強く求められる。（2012年 全国公立入試 類似）

1. 低炭素社会 2. 脱炭素社会 3. 循環型社会 4. 持続型社会

問10 青年期における自己の確立や他者との関係性を考える上で、道徳性の発達には重要な課題である。人間の道徳的判断の発達について、周囲からの罰の回避や自己の利益を基準とするレベル、社会の規則や他者の期待への同調を基準とするレベル、そして普遍的な倫理や個人の尊厳といった自律的な良心を基準とするレベルの3つに区分した人物は誰か。（2022年 全国公立入試 類似）

1. シュブランガー 2. コールバーグ 3. エリクソン 4. ハヴィガースト

答え合わせ・解説 No.10

| | | |
|-----|-------------------------|---|
| 問1 | 答え 3 沈黙の春 | 1962年に出版されたこの著作は、殺虫剤や除草剤などの化学物質が食物連鎖を通じて生態系を破壊し、野生生物だけでなく人間にも深刻な被害をもたらすことを告発した。書名は、農薬の被害によって鳥たちが死に絶え、春が来ててもその鳴き声が聞こえなくなった様子に由来している。この警告は、世界的な環境保護運動の契機となった。 |
| 問2 | 答え 2 生命への畏敬 | ドイツ出身の医師・神学者であるシュヴァイツァーは、キリスト教の人道主義に基づき、アフリカのランバレーネで医療と布教活動を行った。彼は、自己の生命だけでなく他者の生命、さらにはすべての生命を尊び、生かそうとすることを善とする「生命への畏敬」を提唱し、生命の尊厳を倫理の根本に据えた。 |
| 問3 | 答え 2 エリクソン | ライフサイクル論を提唱したエリクソンは、人生を8つの発達段階に区分し、青年期の発達課題を「自己同一性（アイデンティティ）の確立」と位置づけた。また、青年が自己を模索するために社会的な責任や義務が猶予される期間を心理・社会的モラトリアムと名付けた。 |
| 問4 | 答え 3 近道反応 | 欲求不満が生じた際、人間は様々な方法で適応を図る。理性的・合理的に解決しようとする「合理的解決」や、無意識のうちに心の安定を保とうとする「防衛機制」とは異なり、衝動をコントロールできずに他者への暴力や八つ当たりといった短絡的な行動に走ることを近道反応（ショートカット・リアクション）と呼ぶ。 |
| 問5 | 答え 2 他人指向型 | 社会の発展段階や人口動態の変化に伴い、人間の社会的性格が「伝統指向型」「内部指向型」「他人指向型」へと移行すると分析された。現代の消費社会・大衆社会においては、他者の動向や期待を敏感に察知し、それに合わせようとする同調傾向が顕著になるとされる。 |
| 問6 | 答え 4 シュプランガー | 人間の精神生活において追求される価値の領域（理論、経済、審美、社会、権力、宗教）に基づき、パーソナリティを6つのタイプに分類した。これは、個人の行動の動機や価値観を理解するための代表的な類型論として知られている。 |
| 問7 | 答え 2 e-デモクラシー | 情報通信技術（ICT）を駆使して、市民が行政や政治的意思決定に直接的・間接的に参加する仕組みはe-デモクラシー（電子民主主義）と呼ばれる。従来の対面を中心とした住民投票や集会に加え、インターネットを活用した遠隔からの参加（非対面的関わり）を組み合わせることで、時間的・物理的な制約を取り除き、多様な市民の意見を反映させることが可能となる。これにより、市民参加の機会が拡大し、合意形成の質が向上することが期待されている。 |
| 問8 | 答え 4 介護保険制度 | 高齢化の進展や核家族化に伴い、家族による介護が困難になったことを背景に、介護を社会全体で支える仕組みとして2000年に介護保険制度が施行された。これは家族が担っていた介護という機能を社会的な組織や制度に委ねる「家族機能の外部化」の代表的な例である。 |
| 問9 | 答え 3 循環型社会 | 天然資源の消費を抑え、廃棄物の発生を抑制（リデュース）し、回収された資源を再使用（リユース）や再生利用（リサイクル）することによって、環境への負荷を最小限に抑える社会システムを指す。1990年代以降、従来の大量廃棄型社会の見直しが進む中で提唱され、2000年にはその実現に向けた基本法が制定された。なお、事前に環境への影響を調査・評価する仕組みは「環境アセスメント」、将来世代のニーズを損なわずに現世代のニーズを満たす開発は「持続可能な開発」と呼ばれる。 |
| 問10 | 答え 2 コールバーグ | 道徳性の発達段階を「前慣習的」「慣習的」「脱慣習的」の3レベルに区分した。最上位の脱慣習的レベルでは、社会の法律や規則を絶対視するのではなく、人間の尊厳や正義といった普遍的な倫理原則に基づいて自律的に判断する。例えば、「盗みは所有者を人間として尊重しない行為だから許されない」といった判断がこれに該当する。これに対し、罰の回避や自己の利益を基準とするのは前慣習的レベル、社会秩序の維持や他者の期待を基準とするのは慣習的レベルである。 |